

令和3年度の重点課題

○50m走

男女ともに、県平均・全国平均を下回った。新型コロナウイルスの影響もあり、狙っていた教育活動を行うことができなかった。また、バス通学の児童が多く、外遊びを奨励してはいるが、特に高学年では、外で走って遊ぶ児童が少ない。

○反復横跳び

男女ともに、県平均・全国平均を下回った。敏捷性(左右に素早く動くこと)に課題がある。

上記の課題を受けて具体的に  
取り組んだ事項

○授業の初めの3分間を使った運動を以下の4つから選択し取り組む活動  
①3分間マラソン ②3分間シャトルラン ③3分間縄跳び ④おにごっこ

○「50m走」

・業間運動で、5分間走を取り入れ、フォームや体力を調節しながら走る。また、校内行事で、「マラソン大会」を設けることで、目標を持ち、楽しく走る機会を確保する。  
・雨天時や、新型コロナウイルスで全校が集まって活動を行うことができない場合に、運動する機会を確保するために、教室でできるリズムストレッチを取り入れる。

令和4年度新体力テストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.90	23.10	37.20	41.00	52.33	9.68	140.80	20.50	56.89	第5学年	21.00	25.00	45.63	41.38	39.88	9.21	150.75	14.50	62.63

県平均値かつ全国平均値未満

令和4年度新体力テストの結果(県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.90	23.10	37.20	41.00	52.33	9.68	140.80	20.50	56.89	第5学年	21.00	25.00	45.63	41.38	39.88	9.21	150.75	14.50	62.63

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	60.00	20.00	10.00	10.00	第5学年	50.00	37.50	12.50	0.00

学校独自の意識調査

1年生から6年生

○体を動かすことが好き・まあ好きと答えた割合 男子83% 女子92%  
○週3回以上体育以外で体を動かしている生徒の割合 男子36.1% 女子27.2%

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○学校内外で体を動かす時間の確保が十分できない状況の中、1人ひとりの体を動かす時間をできるだけ多く確保する。  
○友達の活動の姿を見て学んだり、意見を受けたりして、技能の向上を図るとともに、グループ活動では共感的人間関係をはぐくみながら学習を進める。  
○小中連携加配の専門性を生かす。(特に、場の充実と運動のポイント指導を行う。)

体育の授業以外で行う取組内容

○業間でのボール投げ活動、反復横跳び、短距離走などの実施。  
○業間を使って、マラソンや縄跳び・長縄跳びの実施。(週2回～3回)  
業間マラソンでは、ゴールと目標を設定し、見通しをもって取り組む。  
○体づくり運動の事例を提示し、業間等で実施できるように工夫する。

重点課題

体力面での課題

○男子は「反復横跳び」「50m走」「立ち幅跳び」「ボール投げ」が、県平均値、全国平均値より低い。  
○女子は「シャトルラン」が、全国平均より低い。

情意面での課題

○男子  
・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が20%である。(前年比3.3%↑)  
○女子  
・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が12.5%である。(前年比4.2%↑)  
○男子が女子よりも、きらいと答える児童の割合が多い。

令和5年度の  
重点目標値

- 運動やスポーツをすることが「やや嫌い」, 「嫌い」と答える児童の割合を現状値より減らす。
- 「20mシャトルラン」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
- 「ボール投げ」を県平均値以上にする。
- 遊びや体を動かす場面を増やすため外部機関とも連携し、その環境を増やす。